

ながい 永井地区 まちづくりの会 情報紙

第 23 号

発行日：平成 28 年 10 月 1 日

発行人：永井地区まちづくりの会
お問い合わせ先

会長 小笠原 正志

TEL：019-638-7611（ファックス共通）

永井地区まちづくり情報紙を発行しています。

永井地区の住環境を、地域住民みんなで考えていけるように、永井地区まちづくりの会の活動報告、地域の現状、その他まちづくりに関する情報をお届けします。安全、安心で住みよい永井地区を目指しています。

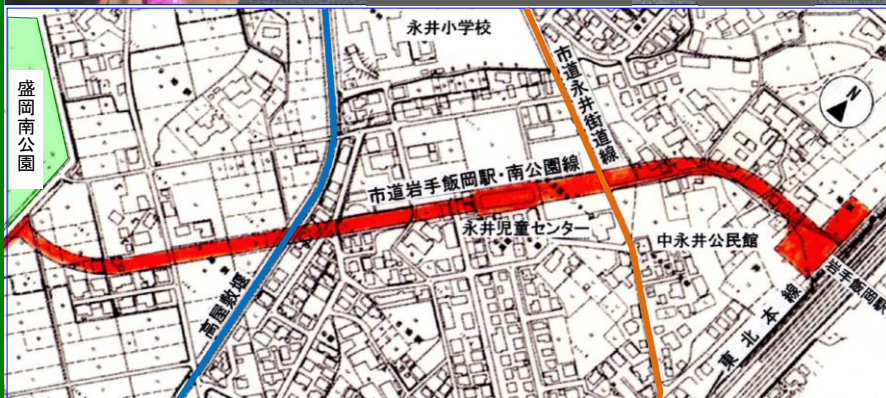
どうぞ関心を持ってお読みいただきますようお願いいたします。

JR 岩手飯岡駅～いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)

祝 市道岩手飯岡駅・南公園線開通



平成 28 年 7 月 9 日（土）500 名を超える住民参加の中でテープカット。大きな拍手が沸き上がった。



《今号の主な内容》

2・3面：

市道岩手飯岡駅・南公園線開通式の様子

4 面：

「永小フェスティバル」より、伝統芸能紹介

盛岡市長 谷藤裕明氏の祝辞より

この市道は、JR 岩手飯岡駅と盛岡南公園のアクセス改善による利便性向上や地域の交通安全の確保を図るため、平成 21 年度より整備を進めてきた。開通により地域の道路環境が改善されたが、現在取り組んでいる岩手飯岡駅の東西自由通路、市道永井街道線の改良を推進することで、地域の結びつきが、より一層深まり、安全で安心な地域づくりの一步となるものと確信する。



20 年越しの悲願

整備延長：730 メートル 幅 員：14 メートル
車 道：2 車線、幅 9 メートル 歩 道：2.5 メートル（両側）
※JR 岩手飯岡駅西口から南公園球技場までは一本道で徒歩 10 分

永井地区まちづくりの会会長 小笠原正志氏の挨拶より

南公園の整備以来、約 20 年越しの悲願がかなった。この道路は単に岩手飯岡駅西口から南公園に通じるだけでなく、今後、永井小学校へ拡幅する道路、岩手飯岡駅東西自由通路につながる重要な道路、今年は国体の年でもあり、開通は子供たちの将来へつながる道にもなる。永井地域、岩手飯岡駅を中心としたまちづくりにおいて、この開通を喜びに、より一層地域の発展に努めたい。



永井街道線に止まれの標識が立ちました。必ず停車をすること。



横断歩道を渡り登校する子供たち。



駐輪場も整備されました。



西口正面、各種車の乗降場所も設置されました。



沿道のキバナコスモスが満開です。



開通ありがとう！ 岩手国体がんばろう！



永小吹奏楽クラブ



盛エラグビー部



盛岡南校サッカー部

東西自由通路について

現在は、改札を通して駅の東西を行き来する状態だが、平成 28 年度から基本設計に入っている東西自由通路と駅舎の橋上化の整備が済むことで、将来的にはさらに駅東西の交流が促進されることになる。

やっぱり おらほの宝だな

平成 28 年 8 月 27 日（土）永井小学校にて、PTA・育成会主催 第一回「永小フェスティバル」が開かれた。
このフェスティバルは、永井地区の伝統芸能（永井大念仏剣舞・下永井獅子踊り・永井地区さんさ踊り）を知ってもらう機会とすること、地域の方々とバザーを通し交流を深めること、体験教室を開き、子供たち、保護者、学校、地域の皆が交流することを目的に開催された。
永井まちづくりの会からも今宮英男氏が講師を務め、子供たちの好奇心を誘い出した。

●永井大念仏剣舞（国の無形民俗文化財）



準備の段階から、すでに舞への精神を見た。
花車の飾り花を、一つ一つ心を込めて開いている姿があった。
舞には静と動があり心を揺さぶる。

●下永井獅子踊り（盛岡市無形民俗文化財）



笛や太鼓、歌、そして「ささら」という民族楽器を使う。
その音が心に響く、獅子の足どりの軽やかさ、獅子頭のきびきびとした動作、見ている者を魅了する。

●永井地区さんさ踊り(平成 26 年復活)



2 年の歳月をかけて復活させた踊りである。
子供たちが覚えて、踊りつないでいってくれることを願う。
しなやかな踊りの美しさに品がある。

●今宮英男先生の空気砲



今宮さんが、にこやかな笑顔で子供たちに話すと、きらきらした目で科学の不思議に声をあげた。

次回予告

- ①岩手飯岡駅並びに周辺道路における交通安全の取り組みについて。
- ②その他

永井地区まちづくりの会に参加しませんか！？

永井地区まちづくりの会は、毎月最終月曜日（祝祭日の場合は火曜日）午後 6 時半から永井児童センターで定例会を行っています。
見学も大歓迎。興味のある方は是非お気軽にどうぞ。
ご意見・ご要望のある方は問い合わせ先にご連絡ください。

永井地区まちづくりの会情報紙は、まちづくりの会と一緒に参加している、盛岡市・NPO(復興サポートオフィス)などの協力を得て作成されています。
今後も盛岡市・NPO・地域の協働のモデルケースとして、共に活動していきます。(情報紙編集 内田三千子・斎藤直子・岡野知子・但木正)